

地理

	日本の工業 2	学習日 月 日	名前：
--	---------	---------	-----

新しい工業地域

工業地帯の隣接地に拡大する形で戦後工業地域が成立

京浜工業地帯の隣接地

関東内陸工業地域(北関東工業地域) … 埼玉・群馬・栃木など内陸部。機械工業が中心。近年急成長

- ・ かつては(1 )がさかん = 桐生、足利など
- ・ 現在は(2 )も有名 = 太田など

京葉工業地域 … 東京湾の東側へ発展。千葉

- ・ 東京湾を埋め立てて発展
- ・ (3 )がさかん = 市原
- ・ 製鉄業がさかん = 君津、千葉
- ・ 貿易港(4 )では原油の輸入量が多い

東海工業地域 … 静岡県、京浜と中京の中間地点に成立。背後に赤石山脈(豊富な水、安い電力、木材)

- ・ 名古屋と東京という二つの都市圏の間に成立
- ・ 製紙・パルプ工業 = 富士、富士宮 → 田子の浦の(5 )公害
- ・ 浜松 = 楽器・オートバイ

阪神工業地帯の隣接地

瀬戸内工業地域 … 瀬戸内海の水運。瀬戸内地方に成立

- ・ (6 )と(7 )の跡を埋め立て
- ・ 倉敷(水島地区)の重化学工業
- ・ 輸送用機器 = 広島(自動車)、呉(造船)など
- ・ 秋吉台の(8 )を利用したセメント工業 = 山陽小野田、宇部

1位	中京工業地帯	55兆円
2位	阪神工業地帯	31兆円
3位	関東内陸工業地域	31兆円
4位	瀬戸内工業地域	29兆円
5位	京浜工業地帯	25兆円
6位	東海工業地域	16兆円
7位	京葉工業地域	11兆円
8位	北九州工業地帯	9兆円
	全国合計	305兆円

全国総合開発計画による工業地域

高度経済成長により太平洋ベルトに開発が偏る → 地域間の均衡ある発展を目指すための計画

- ① (9 )
- 北海道(道央地区)、青森県(八戸地域)、宮城県(仙台湾地域)、秋田県(秋田湾地域)、等々
- ② (10 )
- 茨城県(鹿島地域)、兵庫県(播磨地域)、山口県(周南地域)、等々

→ ここからいくつかの地域で工業が発達

(11 )臨海工業地域 … 茨城県、Y字型の掘り込み港から石油化学・製鉄が発展

(12 )… 大分県、重化学工業が発展

諏訪・岡谷 … 長野県(13 )周辺、精密機械工業が発展

新潟 … 掘り込み港(新潟東港)をつくり、重化学工業が発展

※ 日本海側はロシアとの交易がさかん

苫小牧 … 掘り込み港をつくり、製紙パルプ業が発展 → 現在は衰退

ハイテク産業

交通指向型のIC(集積回路)、半導体産業が発展

九州を(14 )、東北地方を(15 )という

工業製品の輸出

自動車、その他機械類の輸出は世界トップクラス。日本の輸出激増のため、アメリカとの間ではいろいろな品目で貿易摩擦が発生。日本の自動車会社は(16 )を行い現地で労働者を雇用。現地の部品を使用するようになった。国内

では産業の(17 )が起こった。

●全国と、主な工業地帯・地域の工業種類別出荷額割合 (2014年)

